



シーサイドニュース

Medical Corporation WADOKAI
Hiroshima Seaside Hospital

2016年
春号
vol. 72

新入職員を迎えて

病院長 大庭 治

満開の桜も前日からの雨で散り始めました。いつまでも桜の花の下で浮かれた気分に浸っているわけにもいかない日常があります。この季節はまた一種独特的の緊張感がありますし、新年度を迎える新しい生活を始める人も多いと思います。当院にも看護師3名、理学療法士2名、計5名の新しい職員を迎えることが出来ました。全職員一丸となって心のこもった医療に邁進していただきたいと思います。

さて今月11,12日にすぐ近くのプリンスホテルで開かれる先進7ヶ国外相会合の準備で周辺は慌ただしく、警備も厳しさを増しています。欧州各国で起きたテロや難民対策、厳しさを増す世界経済の低迷に対する対策、台頭してきた中国に対する評価と対応など伊勢志摩サミットの準備がなされるものと思います。折角各国の要人が広島に会されるチャンスに原爆の悲惨さを体験してもらえないかと準備がなされていますが、これだけ復興した広島からはたして戦争の悲惨さが想像できるのでしょうか疑問です。それに、思想や宗教、価値観の相違から

命までなげうって戦うものがいることを忘れてはなりません。貧困対策や洗脳でない広い意味での教育が非常に重要です。

今月から診療報酬が改定されました。急性期医療への影響はかなり大きいものがありますが、慢性期医療にとっては努力すれば報酬が得られる形になりそうです。いつも言っていることですがここでも積極的な取り組みが必要です。医療度の高い慢性疾患を持った患者さんの増加、2年後の介護療養病床廃止、その後の人口減少を見込んだ計画を本腰を入れて検討する必要があります。地域医療構想では慢性期病床も削減していかなければならぬようになっていますが、急性期や回復期では解決しない、しかも在宅には持つていけない患者さんが残ります。とりあえず蘇生はしたものの植物状態になった患者さん、人工呼吸や透析から離脱できない患者さんはまだまだ増加しそうです。地域のニーズに沿った医療機関になれるよう変革が必要です、進化したものだけが生き残るのは医療界も例外ではありません。

退任挨拶

この度、三月末をもちまして、広島シーサイド病院を退職させて頂くことに致しました。思い起させば、病院開設以来30年近く永きに渡り勤務させて頂きました。開設当初は95床であった病床数が、現在は330床と大幅に増床し介護分野を充実させ、地域に根ざした病院としての役割を担って参りました。

皆様方の温かいお力添えを賜りまして、大過なく退職の日を迎えることができましたことを、心より深く感謝致しております。

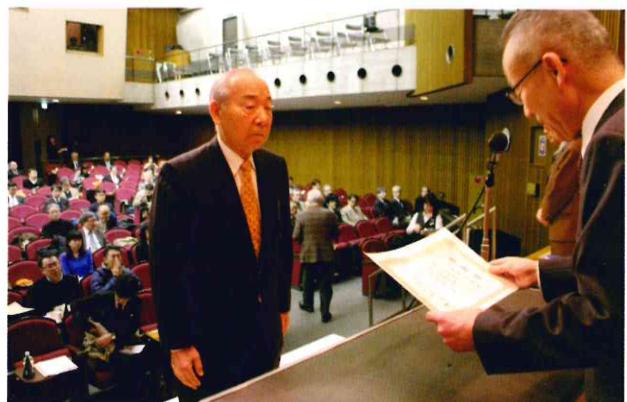
長い間ありがとうございました。

平成二十八年三月末日
広島シーサイド病院 副院長 岡田 宏



広島市医師会入会50年表彰

当院の土光名誉院長が、平成28年3月17日一般社団法人広島市医師会、第98回臨時代議員会において、他の8名の医師と共に広島市医師会50年の表彰を受けられました。土光名誉院長は昭和40年8月1日入会、現在に到っております。



松村誠広島市医師会会長から表彰を受ける土光文夫名誉院長
(広島市医師会だより、平成28年4月号より引用)

新入職員から一言

看護師 有信 友女香(3A病棟所属)

私はこのシーサイド病院に入って職員の方々の人柄にとても感動しました。新人として入社して、不安と緊張が多くあります、一番は看護師としての仕事が十分に出来ていないという点で、職員の方に迷惑をかけています。しかし、「大丈夫?分からぬ事があったらすぐ言いなさいよ」と業務にお忙しい中でもとても気に掛けてくださり、力不足を日々痛感しますが、先輩方の優しさに、明日からも頑張ろうと思います。シーサイド病院に入社してほんとうに良かったです。

看護師 新久保 綾(3B病棟所属)

シーサイド病院に入り半月が経ちました。療養型病院で働くのは初めてで日常生活援助が中心で1日があつという間に過ぎてしまいます。体力的にもハードだと感じることや、今までのやりかたとの違いにギャップを感じることがありますが、入院期間が長い分スタッフの方も患者様の状態を把握されており療養型病院ならではの魅力だと感じます。仕事に早く慣れるよう努力し患者様が穏やかに過ごせる環境作りをしていきたいと思います。

看護師 杉本 愛弓(5病棟所属)

私は、雪国“新潟”からきました。日本海とは違う穏やかな海を見て、毎日癒されています。広島弁での威勢の会話が面白く、職場に来るのが楽しみです。温かく明るい看護を目指して頑張りますので、よろしくお願ひします。

作業療法士 佐々木 将太(リハビリセンター所属)

病院名にもあるように目の前には海が、後方には山が見える風光明媚な場所にあり、病室からも景色が眺められる為に入院中の患者様にとっても良い気分転換になるのではないかと思いました。職員の方々が職種間で連携を取りながら患者様一人一人に関わられている様子を見せて頂き、私自身もリハビリ職種という立場から職員間の連携と患者様に寄り添ったサービス提供が行える様に日々努めていきたいと思います。よろしくお願ひします。

作業療法士 吉川 広道(リハビリセンター所属)

4月より、広島シーサイド病院リハビリセンターに配属されました作業療法士の吉川広道です。20年ぶりにシーサイド病院に戻ってきました。穏やかな海を眺めながらの療養は、患者様もご家族様も気持ちが良いそうで、面会の方も多いように感じます。ご家族様やスタッフの皆さんと一緒に、患者様の療養を支えるリハビリを行っていきたいと思います。よろしくお願ひします。



患者・ご家族の満足度調査 結果報告

広島シーサイド病院では平成28年1月に患者満足度調査を実施しました。

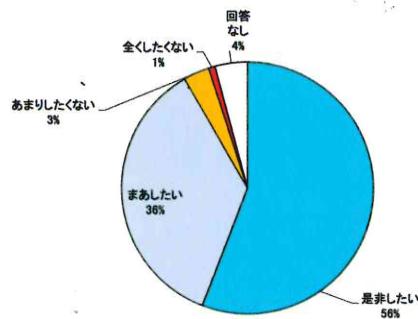
サービス向上委員会

●当院の選択理由を選んでください(複数回答可)

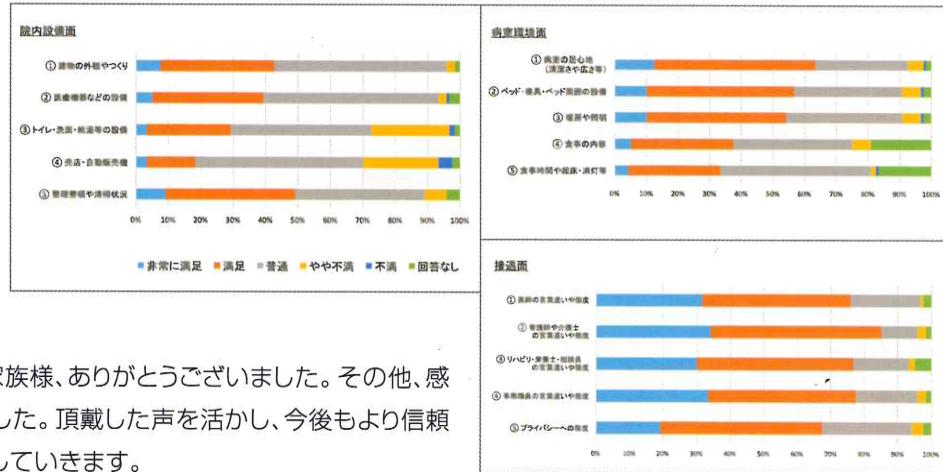
他の医療機関からの紹介	92	家や勤務先から近いから	23
評判が良いから	13	交通の便が良いから	10
家族や知人の勧め	13	その他	7

- ・病院併設在宅サービスを利用していたから
- ・現在家族が入院しているから
- ・見学させてもらい印象が良かった 等

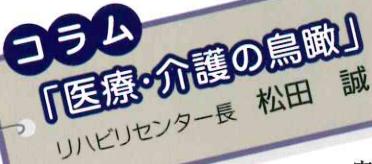
●当院を知人に紹介したいと思いますか



●項目別満足度



調査に協力してくださった患者様、ご家族様、ありがとうございました。その他、感謝のお言葉やご意見・ご要望をいただきました。頂戴した声を活かし、今後もより信頼される医療・福祉をめざして職員一同努力していきます。



地域医療構想

地域医療構想とは、将来の人口推移や在宅医

療の推進を前提に、厚生労働省が示した計算式で一定地

域ごとの必要となる病床数を推計し定め、目指すべき医療提供体制を実現するための施策を検討・整備することである。

2014年時点の全国の病床数は約13.5万床あり今後病床の機能転換などにより、2025年には11.5万床～11.9万床に削減し、病床数を次の4つの機能別に分け整備を進めることとしている。

「高度急性期」…診療密度が特に高い医療を提供する機能

「急性期」…緊急性の高い医療を提供

「回復期」…リハビリや在宅復帰を進める

「慢性期」…長期療養

そして2025年に、それぞれの必要な病床数を定め、医療関係者を集めた会議で調整することとなっている。

現在、全国的に急性期の病床が過剰で、需要が増す回復期の病床が不足している。その為、回復期の病床を増やすよう、各種補助金で財政支援し、又、慢性期は在宅復帰を推進し調整を図る予定である。

2025年における広島県の必要病床数(暫定推計値)は、28,614床以上。機能別でみると高度急性期2,989床、急性期9,118床、回復期9,747床、慢性期6,760床以上となった。

2014年現在の機能別病床数は、高度急性期4,787床、急性期14,209床、回復期3,284床、慢性期10,368床となっている。つまり回復期以外の病床は、2025年までに約35%病床数を減らす必要があり、回復期は大幅に増やす必要がある。各医療機関は早急に病床の機能転換を検討していくなくてはならないだろう。

厚生労働省が考える地域医療構想は、理想的な医療サービスの流れであるが、理想通りにいくのか疑問を感じている。例えば医療的処置が必要な慢性期患者は、どこが受け持つのか。慢性期が受け持てば、病床削減でなく増床するしかない。在宅での受け入れも現状のところ限界があると考えられる。

これから3人に1人が65歳、5人に1人が75歳と超高齢化社会を迎えるあたり、現実的な施策を示してもらいたいものである。



重なった積み木の数を数えましょう。

見えない場所、隠れている積み木をイメージする力を養います。

例)



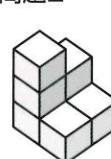
= 3 個

問題1



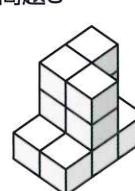
= ? 個

問題2



= ? 個

問題3



= ? 個

*答えは裏表紙(頁下部)

♥信頼される医療・福祉をめざして…

■基本理念

◎常に患者様とご家族の立場に立って行動し、医療・保健・福祉の分野で連携充実を図り、地域のニーズに応えるよう、職員一同頑張ります。

外来案内のご案内 休診日／土・日曜日、祝祭日、盆、年末年始

●内科・リハビリテーション科・放射線科

診療時間	月	火	水	木	金
9:00～11:30	大庭	上杉	池田 沖田	山本	中村 上松瀬
13:00～16:00					

●神経内科

診療時間	月	火	水	木	金
9:00～11:30	湯川	湯川		湯川	

医療法人 和同会

広島シーサイド病院

診療科目／内科・神経内科・リハビリテーション科・放射線科

療養病床330床(医療208床・介護122床)

〒734-0012 広島市南区元宇品町26-20

TEL (082) 255-1010 FAX (082) 255-6826

<http://www.ss.wadoukai.jp>

- 通所リハビリテーション(定員45名) TEL (082) 252-2781
- 訪問看護ステーション ハローナースシーサイド TEL (082) 255-1424
- ショートステイ元宇品(定員30名) TEL (082) 255-1221
- 元宇品居宅介護支援事業所 TEL (082) 255-1422
- グループホーム元宇品(定員18名) TEL (082) 255-1239
- デイサービス元宇品(定員30名) TEL (082) 255-1271

■基本方針

◎信頼され、安全性の高い医療サービスを目指すため、職員の研鑽と協調に努めます。

◎患者様、ご家族、職員がお互いに尊重し合い、ともに喜び、生きがいがもてるようチーム医療を推進します。

◎地域に根ざした、住民とともに歩む病院を目指します。

◎病院の質を高め、健全経営に努めます。

◎職業を通して、社会人としての豊富な人間性を養います。

●ごあんない



- バス／広島バス21号線(宇品線)シーサイド病院入口バス停より徒歩5分
- 電車／広島電鉄宇品線元宇品電停より徒歩10分
- タクシー／広島駅より元宇品方面へ約30分

脳の若返りの答え… 問題1=9個 問題2=7個 問題3=12個

【編集後記】

平成28年3月1日、世間の関心を集めた認知症患者の鉄道事故に関する最高裁判決がありました。それに先立つ地裁と高裁の判断も異なり、最高裁がどのような判断を下すか注目されていた事案です。

平成19年12月7日、認知症の男性(当時91歳、要介護4)が線路に立入り走行してきた列車にはねられたことにより、JR東海は男性の遺族に対して、振替輸送費等の損害賠償を請求する訴訟を提起していました。名古屋地裁は遺族に対して請求額全額を支払う命令を、二審の名古屋高裁は、主介護者の妻にのみ損害賠償の支払いを命じていました。そして最高裁が下した判決は、離れて暮らしていた長男はもちろん妻についてもJR東海への損害賠償義務を否定するものでした。「一瞬の隙もなく監視

しようとすれば、施錠・監禁や、施設への入居しかない…」そのような介護をしている家族にとっては救いとなる判決ではないでしょうか。

認知症患者が主体となった事故の責任のあり方、特に介護に関わっていた親族の責任のあり方について、司法として一つの判断を示した重要な事例となった今判決ですが「誰がどう責任を負うのか」という問題も残されています。2025(平成37)年には認知症患者が700万人にも達するという推計もある中、そして、可能な限り住み慣れた地域で生活を続けていくための整備をしようとしている中、認知症患者の介護の在り方、社会内における対応の在り方を、行政も立法もそして私たち地域のひとりひとりが真剣に考えなければならないと感じさせられました。

(編集N)